

第8回 MBI (マルチメディアを基礎にした教育) 発表会要旨

日時:平成18年2月16日(木)午後3時~午後5時40分

場所:101講義室

1. 明葉サイバーキャンパス個別自学支援システム

薬品化学教室 梶原正宏、基礎薬学部門 II 向日良夫、基礎化学部門 I 日野文男、
薬品化学教室 高取和彦

平成15年度より実施してきたサイバーキャンパス整備事業によって、豊富で良質な知的電子情報をインターネット等で活用し、効果的な教育学習の推進や自宅からも自主学習できるように整備を進めてきた。平成18年度以降は、導入済みの製品や準備した設備をより高いレベルで実践的かつ具体的に活用し、オンデマンド型配信に留まらず、リアルタイム型遠隔授業を進め、e-Learning システムを超えたサイバーキャンパスの完成形を念頭に構築する。

2. e-ラーニングにおけるコンテンツ作成とその運用について

免疫生物学教室 石橋芳雄

大学教育に e ラーニングを取り入れる際、導入するシステムや教材の選定、導入後の運用に必要な体制作りなど多くの検討課題がある。そこで目的や規模に応じた e ラーニングを導入・運営するためのガイドラインとして、小冊子「教育改革を目指した e ラーニングのすすめ」(私情協・コンテンツ標準化委員会編集)がまとめられているので、今回はその概要について説明する。

3. 学生の自発的英語学習支援のために

英語・英語学 林弘美

英語力を養成するためには、授業以外にも自発的に学習を進めていく必要があります。学生の自発的学習を支援するために、現在行っていること、今後行いたいことを、いくつか紹介します。明治薬科大学の CALL 教室に備えられている CD-ROM 教材、および、ポッドキャスト(ネット上の音声ファイルを PC や MP3 プレイヤー (iPod 等) で聴くこと)を中心にお話しする予定です。

4. 「化学 I」と「化学入門」における web 学習状況について

基礎化学部門 I 辻本利雄

1年生科目の「化学入門」と「化学 I」の講義内容を本学のホームページに配信している。(ホームページ;学内専用:教育情報源(シラバスデータベース)⇒明治薬科大学履修システム(履修システム)⇒教育研究教材⇒基礎科学⇒化学⇒基礎化学 I)これには講義内容だけでなく、記載されている語句についての検索機能を持っている。そこで、「教育教材アクセス解析システム」を利用し、学生が調べた事柄、回数などの学習状況を把握し、今後の講義に役立てたい。

5. 基礎科目と専門科目間の習熟度解析

薬学教育研究センター 和田義親 薬効学教室 菱沼滋

薬学生にとって物理は基礎科目として必修であるが、その習熟度には、高校での履修状況、苦手意識の有無等によって大きな差が生じている。学生の物理に対する意識や履修状況が専門科目の学習効果に与える影響を解析し、専門科目に繋がる物理的素養は何かについて検討する。

6. 対面授業支援型 e ラーニングシステム「CMS」について

演者:パナソニック SS マーケティング社 長谷川隆雄

少子化などの大学を取り巻く環境の変化や魅力ある大学づくりに向けて教学改革など様々な取り組みがなされていると思います。そのような中で、学生の学習成果を最大にし、学習の見届けを行う為に、対面授業の支援を目的とした e ラーニングプラットフォームであるコースマネジメントシステム(CMS)が注目されております。今回は、新しい授業スタイルの実現にお役に立つシステムとして、概要と活用事例の紹介をさせていただきます

7. CBT 国家試験対策模試 (SELF-TEST SYSTEM)

演者:メディッククエスト社

過去問テストでは、各1問ずつに設けられた制限時間内に学生は解答する。本年度は240問×3年間分を準備した。次にステップアップ方式では、各1問ずつ事前に難易度を設定しておき、問題のジャンル別および難易度ごとに解答する。更に小テストでは教員が作成したオリジナル問題を解答する。学生はあとから利用状況やテスト統計を確認でき、教職員は各結果から今後の指導や教育に活かすことができる。